

平成21年度及び平成22年度 研究成果実用化促進事業実施課題 事後評価結果

課題名	ニュータイプ「食べやすいスイカ」安定栽培技術の確立				
事業実施主体名	北村山地域農業研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 5.20	② 2.40	③ 2.40	④ 6.80	合計 16.80
所見	<p>研究は計画どおり順調に進行し、当初の目的も達成できている。現地での普及に向けた取組や、成果の需要拡大にまで結び付けている点は高く評価できる。また、技術解説書や成果の内容もよく整理できている。ただし、今後の普及拡大に向けて、コストや収益の試算について引き続き検討する必要がある。</p>				

課題名	局部温度制御によるイチゴ「雷峰」の周年生産技術				
事業実施主体名	栗原地域農業研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 4.80	② 2.20	③ 2.40	④ 6.20	合計 15.60
所見	<p>研究は計画どおり順調に進行し、当初の目的も達成できている。低コスト化に取り組み十分な成果が得られたことは評価できる。しかしながら、技術解説書は研究成果のデータが中心の記載となっており、配布対象を明確にし実践的に活用できる内容とする必要がある。</p>				

課題名	小麦「あやひかり」の黒節病感染を回避する種子生産技術の開発				
事業実施主体名	三重県小麦健全種子供給体制確立地域農業研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 3.60	② 1.60	③ 1.80	④ 3.00	合計 10.00
所見	<p>黒節病の診断技術と防除システムの開発という観点では、十分な成果が得られている。技術解説書は対象を意識し、それぞれの役割に応じた内容を記載するべき。今後は、種子消毒時の農薬登録の問題解決を期待したい。</p>				

得点の凡例

- ① 研究計画が予定どおりに進捗したか(進捗性)：6点満点
- ② 発現した成果が投入された資金に見合ったものであったか(効率性)：3点満点
- ③ 成果を生むに十分な研究実施体制であったか(有効性)：3点満点
- ④ 生み出された成果が生産現場に確実に普及されたか(妥当性)：10点満点 →合計22点満点

平成21年度及び平成22年度 研究成果実用化促進事業実施課題 事後評価結果

課題名	環境負荷低減型でn6/n3比に優れる低コスト牛肉生産技術の開発				
事業実施主体名	茨城県常陸大宮地域農業研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 3.50	② 1.75	③ 2.00	④ 3.75	合計 11.00
所見	<p>学術的な研究としては評価できる点はあるが、波及効果や普及・実用化への道筋が不明確である。また、タイトルにあるように低コスト化が目的であれば、経費などのコスト試算をしっかりと実施しなければならない。</p>				

課題名	水田農業に立脚した肉牛生産モデルの構築				
事業実施主体名	滋賀県持続型農畜産業研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 4.00	② 1.60	③ 2.40	④ 4.20	合計 12.20
所見	<p>研究段階の成果としては評価はできるが、普及に移すための体系化が不十分であるなど普及段階であるとは言い難い。また、技術解説書はポイントが不明確であるため、要点をまとめ、よりコンパクトにして作成すべき。併せて、栽培給与技術の選択肢を増やすことが目的であるなら、他の既存技術とのメリット・デメリットを明確にして記載すべき。</p>				

課題名	高品質ミカン生産のためのフィールドサーバ利用技術の確立				
事業実施主体名	三重南紀地域高品位カンキツ生産技術研究・普及協議会				
評価得点(平均)	① 4.80	② 2.40	③ 2.60	④ 7.60	合計 17.40
所見	<p>研究は計画どおり順調に進行し、当初の目的も達成できている。普及・実用化を意識した取組内容が高く評価できる。今後の普及拡大を期待する。</p>				

得点の凡例

- ① 研究計画が予定どおりに進捗したか(進捗性)：6点満点
- ② 発現した成果が投入された資金に見合ったものであったか(効率性)：3点満点
- ③ 成果を生むに十分な研究実施体制であったか(有効性)：3点満点
- ④ 生み出された成果が生産現場に確実に普及されたか(妥当性)：10点満点 →合計22点満点